

DEPO[®] CAM

DEPO CAM - V16.0

選択曲面加工 -
等高線パス

走査線パスの
接線方向への延長

5 軸に
平行工具

5 軸
側面加工

より現代的な
ユーザーイン
ターフェイス

複合パス -
等高線と
3D 等ピッチ

その他多数の
新機能や仕様拡張

画像提供 : Telkom - OT d.o.o. (スロベニア)

DEPO CAM V16.0 新機能案内

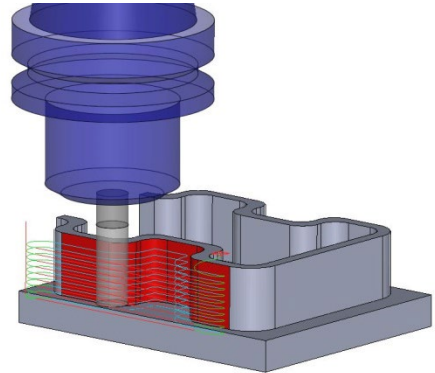
DEPOCAM V16.0 新機能 - 基本モジュール

選択曲面加工 - 等高線パス

DEPOCAM v16.0 のこの新機能は、“選択曲面加工”の機能を拡張して、等高線パスも含めたものです。

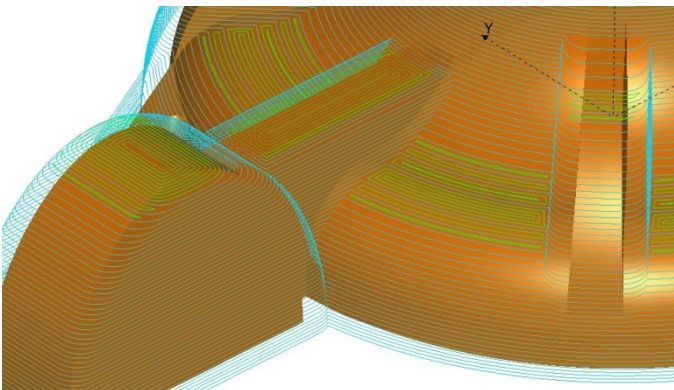
この新機能では、等高線パスを使用して加工するのに個々の曲面を選択することが出来ます。

これにより、走査線、放射線状、螺旋状などの緩斜面向けの加工で選択できるのと同様に、境界を作成しなくても、曲面の端まで加工することが出来るようになります。



複合パス - 等高線と 3D 等ピッチ

この新しいルーチンでは、90° の高角度から指定の低角度までの間に等高線パスを作成できます。その後 3D 等ピッチパスが作成され、指定の低角度と 0° の間の緩斜面の領域を“埋め”ます。



上 - 3D 等ピッチパスは違う色で協調してあります

リンクは上から下へ一度の操作のみとなりますので、リンク順は等高線、3D 等ピッチ、等高線等の組み合わせになります。

この加工方法なら、一度の操作で加工を行えますから、よりなめらかな仕上がりが得られます。二種類のパスを交互に行いますので、継続的に上から下へと切削し、工具の摩耗の問題を防止します。

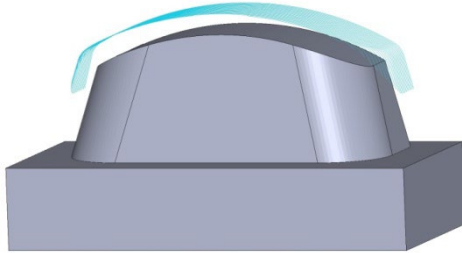
ツールパスの変形移動 - パラメータの保持

切削パラメータを設定済みのツールパスを変形移動する際、設定された切削パラメータは保持するようになりました。

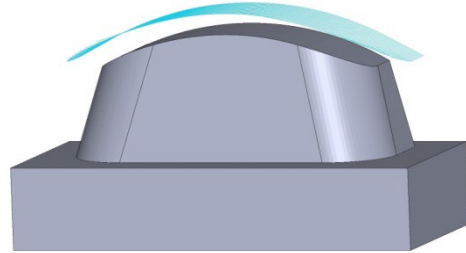
この新しい動作により、ユーザーが手動で行う時間を節約します。

走査線パスの接線方向への延長

以前、走査線パスを延長すると、工具が縁を回って落ちてしまっていました。



上 - 以前の DEPOCAM



上 - DEPOCAM v16 新機能

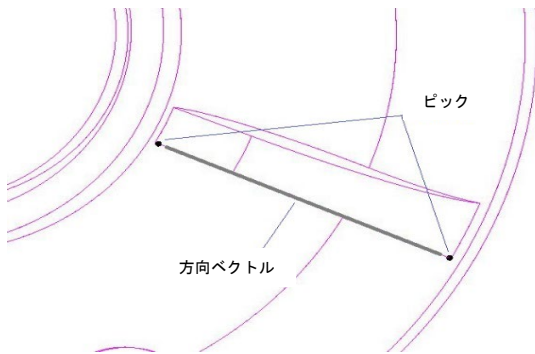
この新しい延長オプションでは、既存のパスの終端に対し接線方向に延長するパスを作成しますので、加工材から離すようにパスを延長します。

この結果、よりシャープなエッジが保たれます。また、水平方向へのパス延長の新項目もあります。

走査線パスの短縮オプション

パスを少量カットすることが出来る新機能が追加されました。これによって、パスのすぐ正面や背後の垂直壁にかすかな痕が残る可能性がなくなります。

マウスクリック 2 回を利用して走査線パスの切削ベクトルを設定

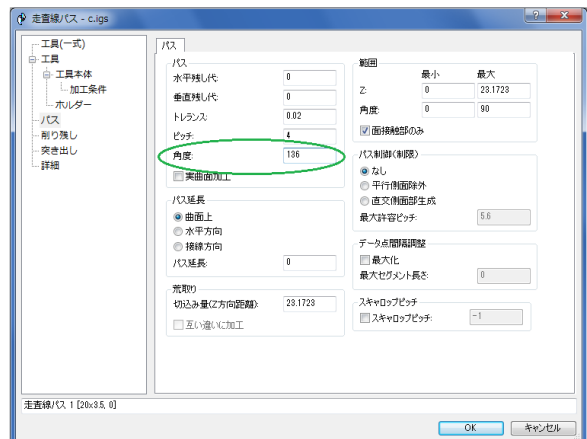


この新機能は、角度を指定するのに、ワイヤフレームモデルをピックする 2 回のマウスクリックを利用して、切削方向のベクトルを計算します。

これにより、時間の節約になります。現状では、正確な角度が必要な場合、手作業でモデルを調べなければなりません。

「パス」ダイアログが開いている間、グラフィックウィンドウでは、モデルから座標が取得されています。

結果はその後、ダイアログの「角度」の欄に自動的に入力されます。



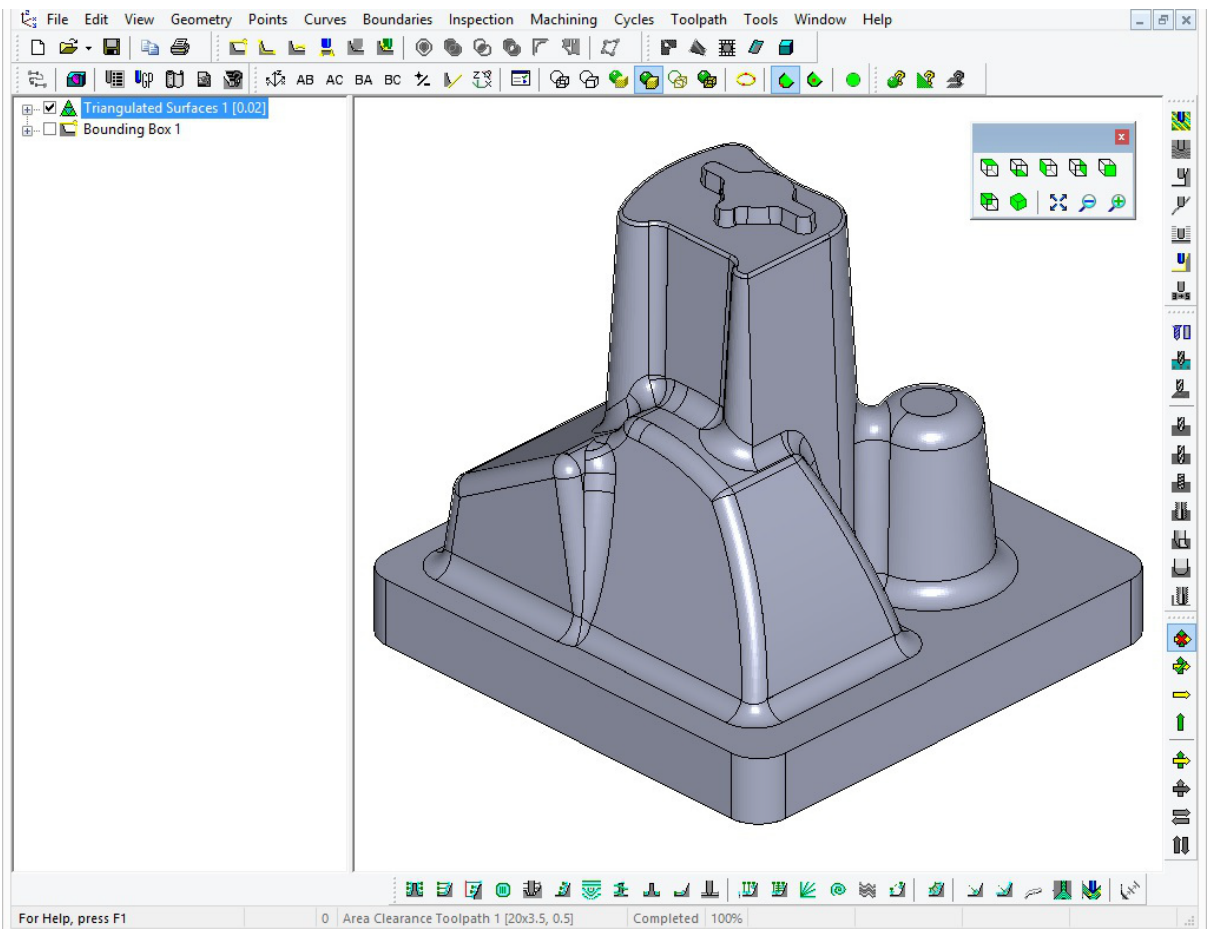
ユーザーインターフェースの現代化

この CAM ソフトは最初に製作されて以来、基本的なユーザーインターフェースのスタイルは変わらずに
来ました。

しかし現在、インターフェースの様々な面での現代化に取り組んでおり、**DEPOCAM v16** のポイントリリースで徐々
に出していく予定です。

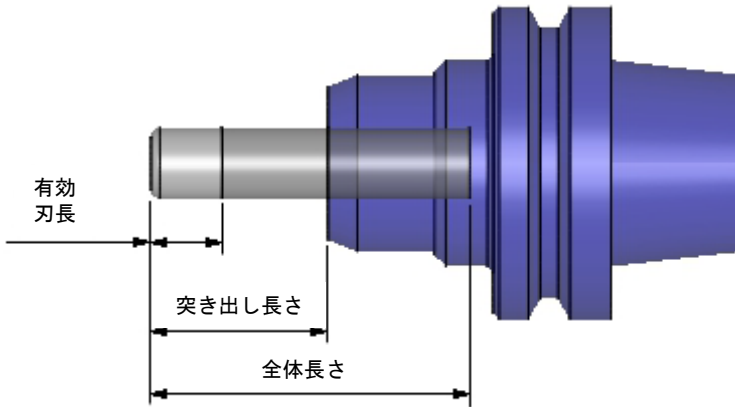
DEPOCAM v16 での改良には、以下が含まれます：

- グラフィックウィンドウが狭い際の、ツールバーの操作・再配置の改善。
- プロセスマネージャーのドッキング機能。



その目的は、ユーザーインターフェースをただこれまでと違うだけでなく、よりよく、
使いやすいものとする事です。

工具データベース - 工具の全体長さ



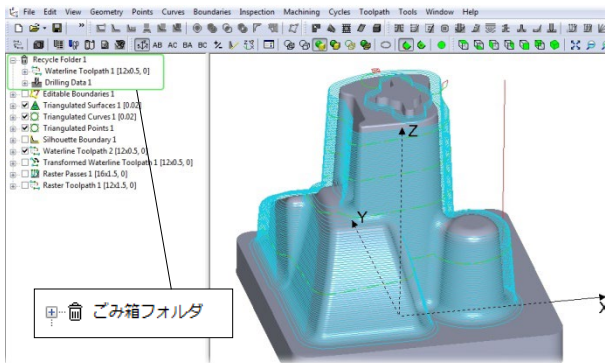
工具データベースで、工具の全体長さを指定できるようになりました：

例えば、工具のカタログで、通常“L1”として参照される数値です。

“突き出し長さ”は工具の“使用可能な部分の工具長”です。

例えば、ホルダーから露出している部分のことです。

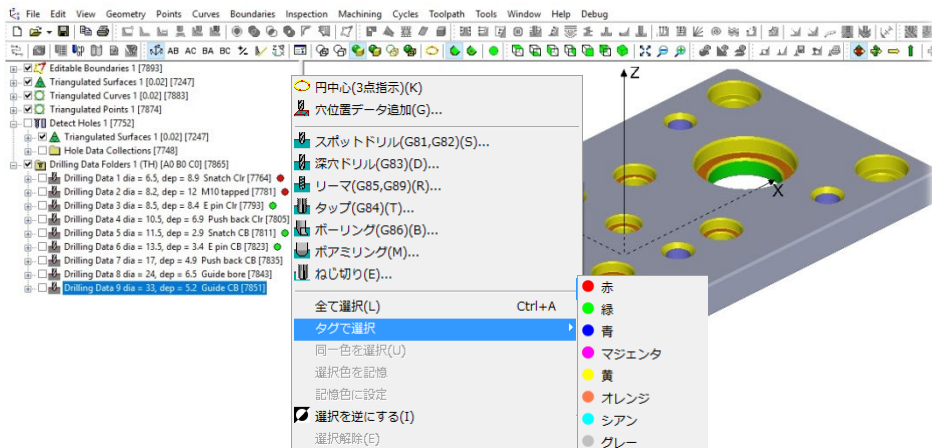
工程ツリーの管理



ツリービューに、削除した項目用のごみ箱フォルダが追加されました。これにより、必要なら特定の項目を選択して、復旧させることができます。

加工済みの穴のマーク

この新機能は、ツリービューで「穴」項目に“タグ付け”することができ、カラーマーカーで、以前に穴あけサイクルを作成するのに使われているかどうか分かるようになります。このように見た目には違えば、加工が必要な残りの穴を楽に確認できるようになります。



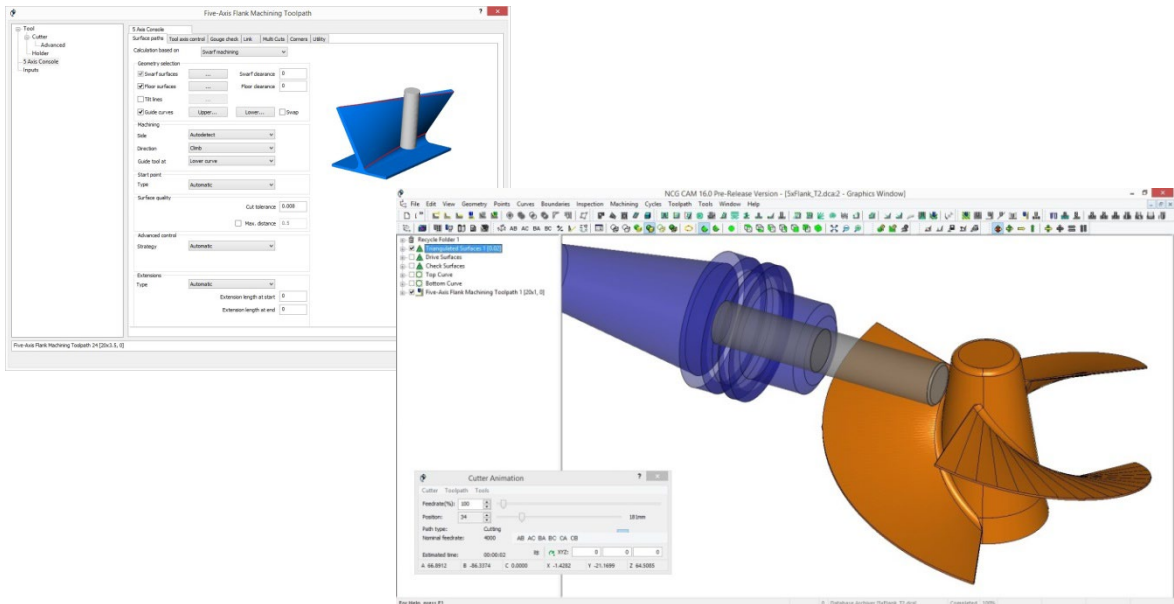
DEPOCAM V16.0 新機能 - 5軸モジュール (オプション)

5軸側面加工

側面加工は、一般的にターボエンジン、航空部品、タービン、インペラー・ブレード等の流線形の部品に使用できる、同時5軸の加工プロセスです。

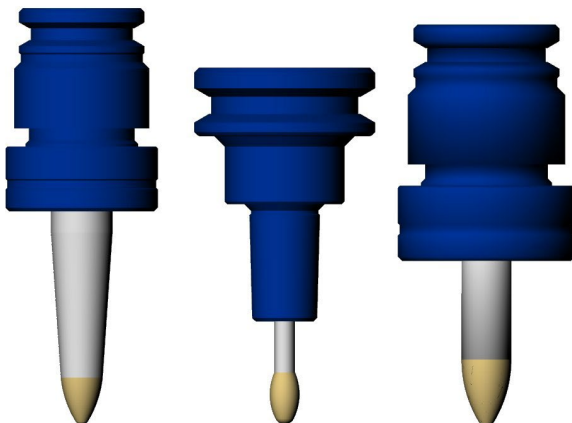
切削工具の有効刃長部分全体を使用し、加工物の曲面を一度の切削で加工するのを目的とします。

荒取または仕上げのサイクルが利用できるようになり、同時に自動でリンクや工具の傾斜も行います。



5軸用バレル工具 (テスト版?)

この新機能は、5軸加工ルーチンを使用時に、バレル型の工具のサポートを提供します。



バレル工具の決定的な特徴は“円セグメント”のコーナーRです。これによって、一般的なボールエンド工具に比べると、工具とワークの接触部分をはるかに大きく出来ます。

接触部分が広がったことにより、曲面の仕上がりは維持したまま、より大きなピッチの使用が可能になります。

バレル工具を使用すると、金属の切削率の向上も期待でき、また一般的なボールエンド工具に比べて工具の摩耗も少なくなります。

DEPO[®] CAM

販売店連絡先:

TMJ
ティ・エム・ジャパン
TOTAL SOLUTION